

最上地域

② 自然環境保全活動

【戸沢村の取組み（市町村里山再生アクションプラン）】

戸沢村には、奇形の巨木杉が群生しており、その中でも観光地として多くの方が訪れるのは「幻想の森」です。中でも山ノ内杉は、幹周りが15mあり、樹齢1,000年を超えた巨木で、県内のみならず県外からも多くの観光客が訪れます。そのため、利用者の安全面や利便性の向上のために、散策路に間伐材を使用したチップを敷いています。今年度は、戸沢学園の7名の生徒と先生方にご協力いただき、実際にチップ敷きを体験してもらいました。子供たちにとって、自然に触れ合う良い機会になったと思います。今後も、「幻想の森」に多くの方が訪れてもらえるような活動と情報発信を続けていく予定です。



山ノ内杉前での集合写真

置賜地域

① 豊かな森づくり活動

【川西町の取組み（市町村提案型）】



チップ撒き作業(10月)

昔から地域の方に里山として親しまれている下小松山は、国指定史跡である古墳群をはじめヒメサユリやハッコウトシボなど希少動植物が多く、年間多くの県民が訪れています。しかし、自生していた多くのアカマツが松枯れ被害を受け、枯損木の処理で発生した集積材が、景観を大きく損ねていました。そのため、川西町では下小松山の景観回復と里山林保全の意識醸成を目的として、松枯れ集積材をチップ化し、地域住民の方々と協力しながら散策道に敷設する取り組みを行っています。今年度で4年目となりますが、現地を訪れる多くの方から「前より景観が良くなったね」との声を頂けるようになってきました。町では、今後も、里山を想う心を育て、地域で守っていきたく考えています。

庄内地域

④ 木に親しむ環境づくり

【大山公園再生協議会の取組み（県民提案型）】

大山公園再生協議会は、戦中戦後の混乱を経て荒廃した大山公園の再生を目指して、平成20年に活動を開始した団体です。今年度は大山公園の景観保全を目的に、周辺森林の間伐を行い、伐採した木は破碎して大山公園内の歩道用チップとして活用しました。また、木に親しみ、緑の循環システムを学びきっかけとするために、県産材を使ったベンチの組立・製作を行い、完成したベンチは大山公園内に設置しました。これからも大山公園にかつての賑わいを取り戻していけるよう活動していきます。



木製ベンチ作成の様子

生物多様性戦略推進事業

県内の動植物の生育・生息の動向を把握するため、動植物の生育・生息調査、ブナ・ナラ豊凶調査、蔵王のアオモリトドマツの調査、希少野生生物の調査

県内に生息する昆虫・植物



ヒメサユリ



カラカネイトトンボ



ヒメミスカマキリ

自然環境保全の対策

森林・生物環境の異変を早期に察知し対策を行うため、野生動植物の生息・生育調査を通して、自然環境の変化を継続的に監視しています。

また、森林に生息する野生鳥獣に対する人的な支援も行っています。

鳥獣管理推進事業

県内の大型野生鳥獣の生息を把握するため、ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカの調査

自動撮影のカメラによる調査



ニホンジカ



イノシシ



ツキノワグマ



猟銃の取扱いを指導中



箱わなの取扱いを指導中



カモシカの子ども



ツキノワグマの子ども

銃やわなの取扱いを学びます

錯誤捕獲から救助したクマやカモシカ

野生鳥獣捕獲体制強化支援事業

野生鳥獣管理の担い手である狩猟者を確保・育成するため、狩猟免許を取得したい初心者に対する講習会を開催

大型野生鳥獣等野生復帰事業

傷病や錯誤捕獲などで保護された森林に生息する大型野生鳥獣を野生に復帰させるため、総合的な治療、訓練、生息地への輸送などを行う獣医師を配置

やまがた絆の森づくり推進事業の取り組み

やまがた絆の森づくりってなに？

森林を通して、地域や環境のために貢献したいという企業や団体が、森林の所有者の方と協定を結んで、森づくり活動を行う取り組みのことです。県がコーディネーターとなり、企業等と森林所有者をマッチングします。2者で活動地及び活動地の名称、期間、活動計画などを話し合って決め、その内容を明示した「やまがた絆の森協定」を結び、活動を行います。



リコージャパン(株)山形支社×門伝生産森林組合
協定締結式の様子

ウンノハウス企業の森

所在地 飯豊町大字須郷地内（山形県源流の森） 面積：0.59ha
協定者 株式会社ウンノハウス、山形県

活動内容 ハウスメーカーとして多くの木材を扱う(株)ウンノハウスは、地域の森林を大切にするため、平成21年からスギ林の整備を始めました。最初は小さかった苗木も、14年間で高さは5mを超え、成長した姿は感慨深いものです。今後も活動を続け、自社で育てた木材を使用した住宅の商品化や、お客様に森で育つスギを実際に見ていただく機会を作ることができればと考えています。



活動後の記念撮影



スギの苗木を植栽した当時の様子

みはらしの丘未来(おかざき)の森

所在地 山形市大字松原地内(蔵王みはらしの丘) 面積：1.42ha
協定者 岡崎医療株式会社、松原共有財産維持管理組合、山形県

活動内容 当社は、病院、福祉介護施設等の医療機器設備や衛生材料等を扱う総合商社です。事業活動に伴い排出されるCO₂削減を目指すエコアクション21の取り組みの一環として、平成26年から森づくり活動を始めました。植樹した木々は花を咲かせるようになり、森の手入れに手ごたえを感じています。これからも整備を続け、地域の皆様から愛される場所にしていきたいと思ひます。



社員が協力して植樹を行いました。



活動後の記念撮影。素晴らしい眺望！

「公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構」が森づくり活動をマルチにお助けします!!

当機構では、樹木医、森林インストラクター、自然再生士、ピオトープ管理士等の資格者を有し、様々な森づくり活動の現場をサポートいたします。職員の他にも、樹木、昆虫、木工など、さまざまな得意分野に精通した専門家33名を人材として登録しており、現場の要望に応じた指導者を派遣いたします。

木を育てたい、子どもたちを森に連れていきたい、手入れしている森を素敵な場所にしたい……けれど、どうしたらいいの!? 悩んだときは、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構に御相談ください。

電話番号 023-688-6633 FAX番号 023-688-6634 メールアドレス gcenter@jan.ne.jp

やまがた緑環境税評価・検証委員会を開催しました

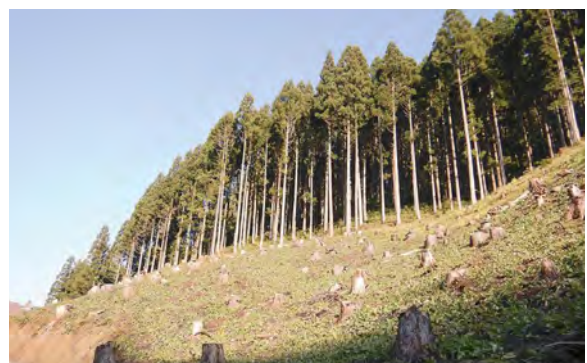
県では、やまがた緑環境税を活用した事業を効果的に進めるため、第三者機関として「やまがた緑環境税評価・検証委員会」を設置し、やまがた緑環境税を活用した事業の評価・検証や施策の見直しの協議等を行っています。

11月11日には今年度第2回目の委員会を開催し、庄内地域において、森づくり活動や森林整備の実施箇所の現地視察を行いました。酒田市ではやまがた絆の森の活動地「花王の森おおはま」（花王株式会社酒田工場）を、鶴岡市では荒廃森林の整備箇所及び再生林の実施箇所を訪れました。

再生林の現地では、皆伐してから再生林までの期間を利用して、焼畑により「あつみかぶ」を栽培している貴重な状況も視察し、委員からは焼畑によるメリットなど活発な質問があり、有意義な視察となりました。



再生林現地の視察(鶴岡)



再生林予定箇所(鶴岡、あつみかぶ栽培)

「やまがた木育」担い手を募集中!

県では、森や木に「触れる」「創る」「知る」という3つの活動を通して、森林の文化や木を活かす暮らしの大切さの理解を育む「やまがた木育」を推進しています。

その担い手となる人材養成を令和元年度から実施しており、今年度は10名の方がやまがた木育人材養成講座【スキルアップ】を修了しました。後日早速ワークショップをお手伝いいただいたところ、講座で学んだことを活かし、木工指導や森・樹木のお話も難なくこなし頼もしい限りです。これからは新たな担い手を増やしていきます。



木育人材養成講座【スキルアップ】



リナワールドでのやまがた木育ワークショップ

(シナノキの学習とストラップ作り)



やまがた木育ワークショップの講師として活躍中です



紙やすりでごしごし



ハンコで名前つけ